

# 埼玉県高P連だより

第91号

令和6年2月1日

埼玉高P連  
調査広報委員会

## 新校紹介

県立飯能高等学校

教頭 發智 祐助

今年度、飯能高校と飯能南高校は統合し、進学を重視した地域と協働する新たな飯能高校として歩みだしました。単位制の導入により、多様で教科横断的な科目を設置した教育課程を編成し、これまでに培った探究的な学びを更に発展させ、新しい時代に求められる資質・能力を育む教育を実践しています。

具体的には、豊富な選択科目から一人一人の進路希望に合った授業選択、一般選抜で大学進学を実現できる力を養成する「特進クラス」、先行き不透明な時代を生きるために必要な課題解決能力を育成する「総合的な探究の時間」や教科横断的な科目である「地域創造学」、情報活用能力を育成するための一人一台端末Chromebookの日常的な活用な

ど様々です。そして、これらの教育活動を支えるため、壁一面ホワイトボードのICT室や机椅子一体型の回転チェアのあるアクティブラーニング室、カフェ風で居心地の良い自習室などを新たに設置しました。その他、大学や企業との連携したコラボ授業、地元保育園での読み聞かせ実習、特色ある図書館運営など、生徒の興味・関心を引く様々な仕掛けが飯能高校にあります。



## 新校紹介

県立児玉高等学校

PTA会長 今井 政江

児玉高校は、旧児玉白楊高校と旧児玉高校が統合し、令和5年4月に開校した学校です。旧児玉白楊高校は、明治32年に開校した競進社畜業学校が始まりです。競進社は世界文化遺産の富岡製糸場に関係が深く、当時の養蚕技術を確立し、地域産業や経済を発展させました。

一方、旧児玉高校は、大正11年に開校した児玉実科高等女学校が始まりです。昭和48年には、サッカー部が全国制覇をしており、柔道では、令和3年に開催された東京オリンピックで卒業生の新井千鶴さんが金メダルを獲得するなどの輝かしいスポーツの実績を有する学校です。

新校では地域や社会の課題をカリキュラムに取り込んだ「課題解決型学習」の地域探究「こだま学」が大きな特色です。「こだま学」では、地域の方々との交流の中で、地域の魅力を知り、愛着や誇りを深めながら学んできたことを活用して様々な課題解決に挑戦します。

児玉高校は、農業、工業の分野で

地域産業を支えてきた旧児玉白楊高校と、スポーツを中心とした数々の実績を有する旧児玉高校の特色を生かし「なすこと」によって学ぶ」を校训に、これまでの両校の歴史と伝統を引き継いでいきます。



会長あいさつ



埼玉県高等学校

PTA連合会会長

大竹 雅樹

令和5年度埼玉県高等学校PTA連合会会長を拝命いたしました。大竹雅樹と申します。会員の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動及び本会の事業にご賛同いただき、誠にありがとうございます。

2020年の年初以降の約3年半は、様々な活動が新型コロナウイルス感染症に翻弄されてきました。当初は事業の中止や各種会議の書面開催、オンライン会議を余儀なくされ、昨年度ようやく対面形式の事業を再開しました。今年度につきましては、全て対面形式の事業計画を策定し、埼玉会館で開催された総会において会員の皆様のご承認を賜り、事業を実施しております。事業実施に際して、皆様と情報交換を密に行うことにより、皆様の一層充実したPTA活動に繋がることを期待しております。

本会といたしましても、コロナ禍による制限を受けない事業の実施は

久し振りであり、運営上至らない点があるかもしれません。また、少子化による生徒数の減少や学校の統廃合が進行しており、PTAの置かれた環境は、年々厳しくなっております。よって、今後、本会の事業のあり方を見直していく必要があります。その際には皆様のお知恵をお借りしたいと存じます。

引き続き、役員一同活動に尽力してまいりますので、本会への皆様のご支援をお願い申し上げます。



正副会長会議

支部役員等活動報告

東部支部

県立越谷南高等学校

PTA会長 神田 亜希子

東部支部では、5月16日、久喜市三高サロンにて、第1回役員会及び総会を感染拡大防止に努めながら開催しました。総会では、研修会等幹事校より、今年度の研修会実施について検討する旨が提案されました。地区発表校の意向を確認し、研修会等幹事校と支部長校で協議した結果、会場の早期確保や参加者の調整等の困難さを鑑み、今年度は支部研修会を開催しないこととしました。

10月24日、オンラインにて第2回役員会を開催し、来年度以降の支部研修会の在り方等を協議しました。今後、各校から意見を集約し、方向性を検討することとなりました。

1月29日の第3回役員会では、支部研修会の方向性を含め、来年度の支部活動について検討の予定です。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行事等の制限も緩和されてきましたが、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、PTAで出来得る限り支援してまいります。

西部支部

県立所沢商業高等学校

PTA会長 伊東 智世

西部支部では、5月24日にウェスタ川越において、総会を開催しました。総会では、今年度の活動計画や予算などについて審議していただき、承認していただきました。閉会后、4つの専門委員会ごとに集まっていたいただき、今年度の役割分担を行いました。昨年引き続き、対面で開催しましたが、有意義な時間となったことと思います。

10月17日には、狭山市市民会館において、西部支部役員等研修会を開催しました。西部教育事務所のスクールカウンセラーでもある埼玉医科大学の大野美佐子様によるご講演をいただき、約160名の参加がありました。講演のテーマは、「しなやかに生きる高校生を育成するため」でした。大野様からは、PTAの皆様にとって、高校生の気持ちをどう理解したらいいのか、高校生をどう支援していけばいいのかなど、大変参考になるお話をいただきました。今後も各学校のPTA活動の支援となるように努めてまいります。

南支部

県立桶川高等学校

PTA会長 関根 弘子

南支部では、4年ぶりに南支部総会を参集型で実施しました。昨年度の引継ぎ課題として新型コロナウイルス感染症により令和2年度から中止となっていた県外研修を今後どうするかということについて検討しました。役員会において、各校の対応や支出等の負担を鑑みて令和5年度より廃止することを提案し、承認されました。また、令和6年度以降の支部活動についても見直しを行うこととし、各校にアンケートを実施しました。アンケート結果を踏まえ、役員会で検討・協議し、来年度の南支部総会で提案できるよう現在、準備を進めています。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行し、コロナ前のような活動ができるようになってきました。今後は、これまでの活動を見直す良い機会と捉え、各校の対応や負担を考え、持続可能な南支部づくり、更には南支部の目的「県南の高校教育の充実を図る」ことを目指して取り組んでいきたいと考えています。

北支部

県立本庄高等学校

PTA会長 齋藤 拓

北支部では10月14日に半日研修という形で、本庄市民文化会館において、北支部役員等研修会を開催いたしました。

前半の基調講演では、医療法人社団悠之会ゆうあい内科・脳神経クリニック院長の金三雄様をお招きし、「理想の教育、親、組織について共に考えましょう」というテーマで講演をいただきました。金先生のお人柄が表れた、親近感溢れる講演でした。

後半は北本高校、妻沼高校、深谷高校、秩父高校の各校から研究発表がありました。コロナ禍から抜け出し、以前の活気を取り戻しつつある各校の工夫と取組みに、会場が大いに元氣付けられました。幹事校としては、小規模校が幹事に当たった時の対応を見据えて、事務量の軽減と経費の節減を心掛けました。

当日は22校128名のご参加とご協力により、充実した研修会となりました。今後のPTA活動の更なる発展を祈念いたします。

定通教育活動報告

県立春日部高等学校

委員長 青鹿 美穂

令和5年度、令和6年度に定時制通信制専門委員長を務めます春日部高等学校定時制の課程PTA会長の青鹿美穂です。よろしくお願い申し上げます。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法の第5類に変更されたことに伴い、専門委員会においても、ポスト・コロナを志向し、委員会の各取組みの正常化、活性化に努めてまいりたいと思います。会員各校におかれましてもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

本校においても、新型コロナウイルス感染症のために、この数年、様々な学校行事が中止の憂き目を見ました。今年度からは本校PTAとしても春日部高校の学校行事の活性化を考え、進路渉外部の先生方とも連携をはかり、各行事への保護者の参加を積極的に広報しました。具体的には全定共催で行われる春高祭、彩の国教育の日の授業公開、定時制単独

で行われる体育祭などです。PTAや進路渉外部からの働きかけの甲斐もあって、例えば、体育祭においては40人以上の保護者の方が生徒の活躍する姿を直接応援することができました。

ポスト・コロナにおいては、感染防止に留意しつつも、直接、子供たちの学校生活を支えていくことがなによりも大切です。このような取組みが県内定時制通信制のなかに広まっていくことを祈念しております。

今後とも定時制通信制教育の特性を生かす新たな取組みに一層取り組んでまいりたいと思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。



# 各校の取り組みから学ぶ

## 専門委員会研修会の報告

### 生徒指導専門委員会

県立松山高等学校

委員長 新井 寛雄

県高P連生徒指導専門委員会では、専門委員会各支部代表校の県立蓮田松韻高校、県立大宮工業高校、県立小鹿野高校、県立松山高校の各PTA会長、校長が一堂に会し、令和5年度専門委員会研修会の準備のための会議を5月、9月に行いました。11月7日午前中に埼玉会館小ホールで開催された生徒指導専門委員会研修会当日は、この4校の他、司会・進行として県立狭山工業高校PTA会長、記録として県立和光高校PTA役員の皆様にもご協力をいただきました。また、実践発表では、県立松伏高校PTAから「松伏高校におけるPTA活動と生徒指導」、県立新座柳瀬高校PTAから「コロナ禍からの復興とPTA活動」、県立大宮工業高校PTAから「大宮工業高校におけるPTA活動と生徒指導」



た。手島様、また、発表校並びに運営協力をいただきました各校PTA役員の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

導」、県立深谷高校PTAから「PTA活動と生徒指導」部活動と制服の変更を中心として」というテーマでご発表をいただきました。指導助言では県立学校部生徒指導課指導主事手島裕司様から発表校それぞれについてご指導をいただきました。

# 家庭教育専門委員会

県立大宮商業高等学校

委員長 杉本 香織

11月7日、埼玉会館小ホールに於いて、家庭教育専門委員会研修会が開催されました。はじめに、「家庭とともに守る生徒の健康と安全」と題し、埼玉県教育局県立学校部保健体育課峰岸宏次様から「学校における感染症対策」、山田朗様から「自転車用ヘルメットの着用推進」、坂上三四郎様から「学校における性に関する指導」について講演をいただきました。実践発表では、越谷東高校は、保護者アンケートの結果を基に行った「PTAスローガンの定着を通じた学校との連携の一層の強化」についての実践報告。所沢中央高校は、「家庭教育とPTA『親子の意識の違い』」について、学校生活・進路希望・勉強時間・SNS等に係る調査結果とその考察。大宮商業高校は、家庭教育に関するアンケートの結果から、家庭教育の意義やコロナ禍での家庭教育のあり方と情報社会での

家庭教育の役割の考察。秩父高校は、特別講演会「命の大切さ」の実施と「生活に関するアンケート」を実施、結果から見えてきた家庭教育のあり方について、発表されました。それぞれ、今後の家庭教育に参考となる発表でした。最後に埼玉県県立学校部保健体育課の遠井学様から指導講評をいただき研修会は終了しました。



### 進路指導専門委員会

県立越谷西高等学校

委員長 間中 辰徳

11月20日、埼玉会館小ホールにおいて、進路指導専門委員会を開催いたしました。

県内各支部の実践発表として、西部支部からは川越女子高校、南支部から浦和北高校、北部支部からは妻沼高校、そして東部支部の当校を含めまして計4校より発表をいただきました。

新型コロナウイルスが、いわゆる感染症法上の2類から5類に引き下げられた本年度は、各校とも少しずつ感染拡大前の活動状況に戻りつつあるようでした。また、今回の



感染症流行が、見方が変える、従来までのPTA活動の在り方を見直す良い機会でもあったと感



じさせられる実践発表でした。

発表後には、県教育局高校教育指導課の青木隆一郎様より各校へのご講評と教育分野における埼玉県としての取組みとして、キャリアデザインセミナーの開催などについてご案内を頂きました。本会に参加された皆様にとって、今後の活動に大変有意義な研修会になったと確信しております。

最後に、実践発表をいただいた各校関係者の皆様、研修会の企画・運営に携わっていただきました皆様、そして、お忙しい中、本会にご出席をいただきました全ての方に感謝申し上げます。進路指導専門委員会のご報告とさせていただきます。

### 高校教育とPTA 専門委員会

県立熊谷商業高等学校

委員長 佐藤 英樹

11月20日の午後、埼玉会館小ホールで「高校教育とPTA専門委員会研修会」を開催いたしました。

講演会では、東京海上日動火災保険株式会社池田博之様と原繁様から「笑顔の授業〜支えあう社会のために〜」と題して講演をいただきました。講演に先立ち、目白大学保健医療学部言語聴覚学科の春原則子教授より「失語症を知る」というテーマで説明がありました。池田様の前向きで熱心な思いが伝わる講演に参加者全員が興味深く聴き入っていました。



また、各支部から羽生第一高校、滑川総合高校、鳩ヶ谷高校、北本高校の4校が実践発表をいたしました。各校のPTA会長やPTA副会長から活動内容、成果と課題に関して発表がありました。どの学校も実践を踏まえた素晴らしい発表で、学ぶべき点が多くありました。今後のPTA活動の参考になったと思います。

指導講評は、埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課の社会教育主事兼指導主事である永井智弘様をお願いいたしました。各校の発表に対して、丁寧な講評をいただきました。最後になりますが、講演、実践発表、指導講評をしていただきました皆様、研修会の企画・運営に携わっていただいた皆様、出席いただいた皆様、感謝申し上げます。



# 教育活動紹介

## 人材育成

### 県立三郷工業技術高等学校

校長 櫻浦 岳人

本校は、将来のスペシャリストの育成を目指す学校として昭和60年に開校しました。現在の設置学科は、機械科、電子機械科、電気科、情報電子科、情報技術科の5学科です。県内では、唯一の情報電子科があり、CGを勉強する教育課程が組みまれています。また他校では見られない取り組みとして進学クラスを2、3年次に設置し、大学等進学者向けに普通教科にも力を入れています。

三郷市や近隣の各団体との連携も積極的に行っており、小高連携プログラム授業、お祭りではミニ新幹線運行、ミニコンサートなどを行い、生徒の社会性や自主性を育てる場としても活用しています。

その他にも、各専門教科において生徒への資格取得に力を入れていきます。結果、埼玉県高校生専門資格等取得表彰、全国工業校長協会ジュニアマイスターも数多く輩出しています。さらに工業科で得た技術力を生



かして各種大会でも上位の成績を収めています。中でも技能オリンピック、高校生エコカーコンテストでは女子生徒が中心的な役割を果たし成果を上げています。

今後も、本校においての様々な教育活動や教育資産を通して、また地域の力を借りながら、将来を担う人材育成に力を入れていきたいと思えます。

# 輝く高校生

### 県立浦和東高等学校

PTA会長 渡辺 操

2学期に入り、多くの学校で文化祭が開催されました。本校も「第40回東雲祭」として9月8日、9日の両日で開催しました。8日は校内公開、9日は一般公開でしたが、多くの方にご来場いただきました。今年度のテーマは「百花繚乱〜なぜ楽しめない?!制限なしの文化祭や?〜」です。このテーマにあるように多くの学校で、新型コロナウイルス感染症による制限を設けず開催したと思います。また、「なぜ楽しめない」との問いかけもあります。これは、コロナ禍で制限がある行事しか経験していないので、「楽しみ方を知らない」もしくは



「忘れてしまった」生徒をイメージしているのかなと感じました。しかし、この不安を見事に払拭し、ほとんどの生徒が東雲祭を満喫して、はじけんばかりの笑顔、元気のある姿を見せてくれました。まさに「輝く高校生」でした。我々PTAも、校章入りのお菓子や飲み物を販売したり、キーホルダー作りの講座を開くなど高校生に負けないくらい輝いていました。文化祭後に多くの学校で感染症が蔓延し、対応に苦慮されたと聞きました。今後の様々な行事で、感染症対策が課題であると感じましたが、以前のように活動を止めることなく、生徒たちに貴重な体験や経験を積ませていただければと思います。

第72回全国高等学校PTA連合会大会

宮城大会 報告

前県連会長 石井 志穂

宮城大会は2023年8月24日から25日の2日間、カメイアリーナ仙台他5会場において、対面とオンラインのハイブリッド方式にて開催されました。

初日の分科会のひとつにグループディスカッションが企画されているものがありました。第4分科会では教育現場から見たPTAの意義、学習指導要領の「地域との双方向の関わり・協働」の重要性について、野澤令照様より講演があったのち、グループディスカッションに進みました。数人のグループでPTAに関するテーマについて活発な話し合いが行われましたが、どの方も他県との情報交換を積極的に行い、今後のPTA活動に繋げようとしていました。隣の方とのちょっとした雑談が発展し、グループ内での議題のひとつになったりするなど、セレンディピティを感じる場面もありました。コロナ禍で「人との交流」が断絶され、オンライン（非対面）形式による会議・大会が増えてきました。これに伴い、「人を動かすこと」に

費用も時間もかかる対面による活動の意義を問われるのは、PTAにおいても例外ではありません。

しかし、分科会のグループディスカッションに参加し、オンライン形式では得られないものはあり、対面での活動の必要性を改めて考えさせられた大会でした。



第69回関東地区高等学校PTA連合会大会

栃木大会 報告

前県連副会長 川田 千春

7月7日宇都宮マロニエプラザに於いて関東7県から1600名余りの会員が集い「未来を描き、切り拓いていこうとする子どもたちをめぐむために」をテーマに掲げ、開催されました。来賓には栃木県知事も参列してくださり栃木県の魅力を紹介しつつ歓迎してくださいました。記念講演では栃木県のあしがが

フラワーパークに長年携わられた樹木医の塚本こなみ様より、植物の持つ人間性回復力について、人生に疲れきった人たちが植物とふれあい立ち直っていく様を交えながらお話し頂き大変興味深い内容でした。



翌8日は鬼怒川に会場を移し5つの会場で分科会が行われ、私自身も第4分科会に参加し、発表校との学校と保護者を繋ぎ見事



要な役割があることに気づかされる」とのお言葉に共感し、やりがいを感じたところです。

この2日間、志を共にする皆様と意見交換する機会を得て大変有意義な時間となりました。大会実行委員の皆様へ感謝申し上げます。

に連携して活動されている様子に刺激を受けました。また、講評の中で「PTAに批判的な方がいる世の中でもやはり重

令和6年度主な予定

<令和6年>

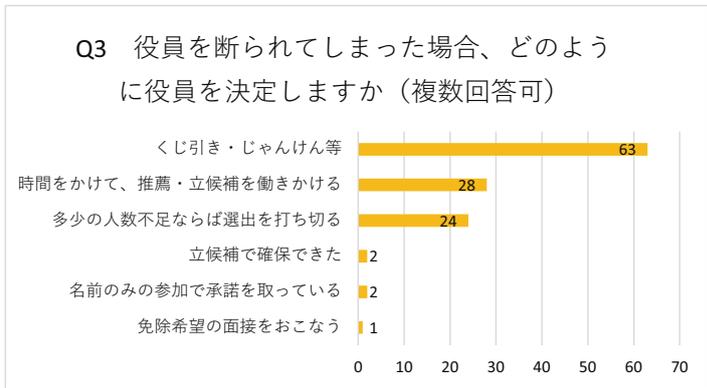
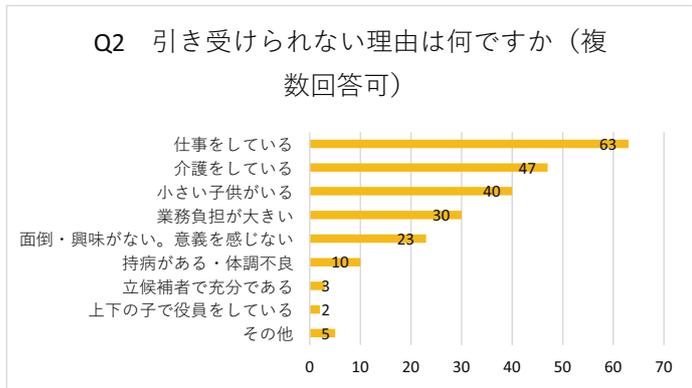
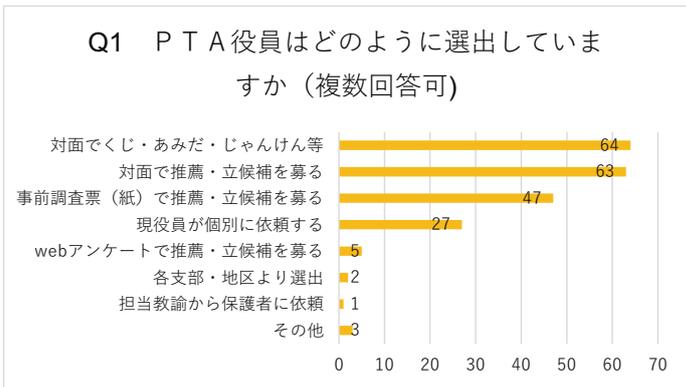
- 5月15日(水) 新旧合同理事会・専門委員会・調査広報委員会 埼玉大会第1回実行委員会
- 6月10日(月) 埼玉P連定期総会・研究協議会(埼玉会館小ホール)
- 7月23日(火)~24日(水) 第70回関東地区高等学校PTA連合会大会 千葉大会(幕張メッセ)
- 8月22日(木)~23日(金) 第73回全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会(アダストリアみとアリーナ他)
- 9月4日(水) 第2回理事会・専門委員会・調査広報委員会 埼玉大会第2回実行委員会
- 10月10日(木)~11日(金) 第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会第1回役員会・委員会
- 11月5日(火) 専門委員会研修会①(埼玉会館小ホール)
- 11月11日(月) 専門委員会研修会②(埼玉会館小ホール)
- 11月中旬 第72回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
- 12月13日(金) 第3回調査広報委員会(高P連事務局)
- 埼玉大会第3回実行委員会

<令和7年>

- 1月28日(火) 第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会第2回役員会・委員会
- 2月3日(月) 高P連だより第92号発行
- 2月7日(金) 第3回理事会・専門委員会
- 埼玉大会第4回実行委員会

# PTA会長にアンケート ～PTA役員決め、どうしてますか？

どの学校でもPTA役員決めに悩んだことがあるのではないのでしょうか？  
他校ではどうしているのか、参考になればと思いアンケートを実施しました。  
沢山のご回答をありがとうございました。



## 事務局より

### 【令和6年度担当支部】

◎県連会長 東部選出

◎専門委員長等

・高校教育とPTA 南部選出

・進路指導 北部選出

・生徒指導 東部選出

・家庭教育 西部選出

・調査広報 東部選出

・定通教育 東部選出

★第70回関東地区高等学校PTA連合会大会千葉大会  
日程・令和6年7月23・24日  
場所・幕張メッセ

★第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会  
日程・令和6年8月22・23日  
場所・アダストリアみとアリーナ他

【参考】  
★第71回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会  
日程・令和7年7月11・12日  
場所・ソニックシティ

◎令和6年度の県連会長は埼玉大会の実行委員長、県理事校及び専門委員長校は実行委員長となります。よろしくお願いいたします。

★全国大会の開催は、R7三重県・R8大分県・R9東京都を予定しています。

### ～ハイスクール24還元事業～

ハイスクール24還元事業として、今年度は「ヘルメット着用推進」「AED設置推進」を実施できました。  
生徒の安全環境整備を進めるため、今後も継続してまいります。  
各校におかれましては、引き続き新入生への「ハイスクール24」パンフレットの配付および周知をお願いします。

## 編集後記

コロナが5類に引き下げられて緩和された為、色々な行事が対面式で行える様になりました。以前のような活動までには至りませんが徐々に回復する事を祈ります。

今年度行われた栃木大会・宮城大会では多くの方が参加され地元も賑わったと思います。久々の交流で有意義な時間を過ごす事ができ、とても楽しかったです。また活動を通してご協力頂いた多くの皆さまに感謝申し上げます。

調査広報委員長 亀田美由希  
(進修館高校)